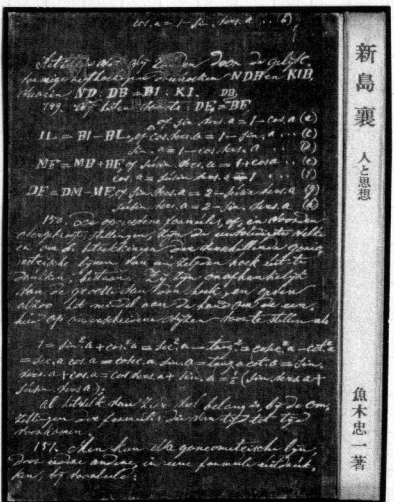


魚木忠一 うきむねいち キリスト教史學者、文學博士。明治二十五年七月二十一日滋賀縣生れ、昭和二十九年歿（二八九—一九五五）。大正十一年同志社大學漢科卒。アメリカ、次いでドイツに留學し、キリスト教史、新舊學史を専攻。昭和五年以來母校教授。

著書 『原十力時代に於ける基督教—新島講義筆記論文集』（合著・有賀鐵太郎編、昭和二十二年二月十五日京都・聖光社）、『新島襄—人と思想』（昭和二十五年十一月、二十九日京都・同志社大學出版部）、『キリストの證人（日本篇）』（合著・小塩力編、昭和二十六年十一月十日新教出版社「信仰指導叢書」）、『キリストの從ひし人々』（合著・新教出版社編集部編、昭和二十九年九月一日新教出版社「信仰指導叢書」）等の他、難波官太郎『木月遺稿』（昭和二十九年九月一日愛知・木月遺稿刊行會）を編輯出版。



新島襄 人と思想

魚木忠一著